

2010年12月13日

VOL. 49

とっとり・グローバルウォッチ

とっとり貿易支援センター情報誌

現地発！台湾月刊レポート 42

台湾国際花博覧会と台湾五大都市選挙の裏側

台湾では、11月末に5都市選挙が終わった。現与党、大陸よりの国民党が台北市、新北市(元台北県、名称変更)、台中市の台湾北・中部で三勝。野党民進党が基盤の南部、台南市、高雄市で二勝。結果は国民党の勝ち。総得票数は民進党が多かったが、選挙前夜に元国民党党首である連戦氏の息子、連勝文氏が銃撃される事件が起こるなど問題の多い選挙であった。地図、候補者等詳細については、こちら(中国語)。

<http://www.google.com.tw/intl/zh-TW/landing/elections/2010/>

この選挙にも関連するのだが、台北市で国際花博覧会が始まっていることをご存じだろうか。11月6日から開幕一ヶ月を待たずに入場者が100万人を突破し、連日大変な賑わいである。

■台湾をアジアの花センターにする

中国の上海万博に負けまいと、またアジアの花センターを狙った正規の博覧会である。まず公式ホームページより花博覧会の概要を説明しよう。

リソース：臺北市政府産業發展局
日付：2008/11/21

《台湾の荣誉と台北の誇り》

「2010台北国際花博覧会」は、台湾が初めて正式に国際的承認を得て開催するA2

B1級(数カ国の代表展示や参加のある長期・大規模国内園芸博覧会)の博覧会で、これは台湾にとって最高の荣誉であるとともにアジアで4番目の国家、7番目の都市として開催する国際級の博覧会である。台北市政府と台湾地区の花弁発展協会は、・・・(省略)全力で取り組んでいる。

《園芸界のオリンピック》

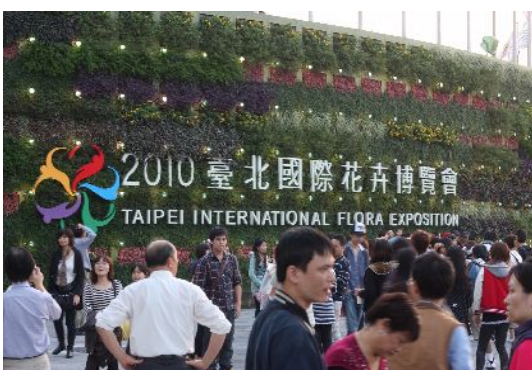
「2010台北国際花博覧会」によって示されるのは、園芸業界の実際の技術力、大型イベントを企画する組織能力、及び高い経済効果を生む創造能力である。将来、800万人もの観光客が台北を訪れることが予想され、観光旅行業、飲食業、園芸バイオテクノロジー業に新契機をもたらすことが期待される。このイベントを

目次

現地発！ 台湾月刊レポート 42	P 1 P 2
海外販売大作戦フォーラム に参加しました	P 2
最新の上海 ～現地レポート～ 33	P 3
鳥取県広州食品商談会 のご案内	P 4
お知らせ	P 5



「100万人突破」会場を繋ぎ無料バスが走る



2010台北国際花卉博覧会 メインゲート



「会場案内図」市内四エリアがメイン

<次頁へ続く>

経て、台湾の国際的地位、評判、注目度を向上させられれば、台湾に対する認識はさらに深まるはずである。

開催期間：2010年11月から2011年4月まで

会場：①大佳河濱公園エリア、②美術公園エリア、③圓山公園エリア、④新生公園エリア 以上

入場料は、一人一日券が300元(日本円900円)。花博についての詳細は、日本語ページがあるのでご覧いただきたい。 http://www.2010taipeiexpo.tw/MP_6.html

■花博覧会の恩恵と失ったもの

この博覧会のおかげで、上記会場以外の台北市内も綺麗になった。鬱蒼としていた部分が取り壊され小綺麗な公園になった。街には、草木が溢れ若々しく見えるようになった。みずみずしい街は私も大好きである。また、大陸の旅行者にとっては、とても新鮮に映ることであろう。一方、この開発で失ったものも多い。それは、日本統治時代の建物がターゲットになったこと。今回の花博関係で、実は数多くの日本家屋が破壊撤去されてしまった。懐かしさを感じさせたこれら日本統治時代の残り香は何の保管・研究もされることなくこの世から消滅してしまった。意図的に日本時代の遺跡を取り壊しているフシもある。私たちにとっては、大変残念である。

またなぜ冬に花博なのだろうか、という疑問もある。実は台北の冬は案外寒い。湿度が高く足元からじんじんと冷える。暖房も必要である。花が乱れ咲く南国なのだから、来年の春から夏にかけて行えば良いのではないだろうか。

■政治的影響

次に大きな問題は、与党国民党の選挙対策が隠されていたことだ。選挙が11月末のため、11月頭に花博を開幕したと言われている。さらに露骨なのは、台北市内に開

業した地下鉄蘆洲線。これも11月3日より全線開通を待たず部分開通をさせた。さらに、選挙終了直後の12月3日まで無料としたのだ。日本でも選挙対策はやっているが、露骨なことに驚く。

更に驚く事件が発生した。以前、台湾総統選挙で当時現職の陳水扁総統が狙撃された事件を覚えているだろうか。当時この事件のおかげで、負けるだろうと言われた陳水扁総統が同情票を集め再選した。まさに似た事件が選挙前夜に発生した。日本ではほとんど報道されなかったが、台湾の新聞、テレビ局は、このニュース一色に染まり、与党国民党の選挙演説も選挙施策から、一斉に連勝文氏への(彼は亡くなっていないが流れ弾で観衆が死亡)吊い選挙一色となり同情票を集めることとなった。同時に陳水扁前総統の汚職裁判も行われ、民進党が多少優勢と言われていたが、流れは直前に国民党に傾いた。今回また国民党市長が再選したことで市政内部の汚職、膿が暴かれることなく暗闇に葬られることになった。ここでは書けないが、台北市政府内部での業務丸投げ、それに伴うリベート等、関係者で被害にあっている人もいる。さらに大陸への経済的接近が進み、日本との関係が薄まると危惧する向きも多い。日台関係を含め近未来をほの暗くする結果となっている。一方、南部民進党の高雄では、日本企業の誘致を積極的に進めている。ただ立地条件の影響もあり結果が出ていないようであるが、うまく行って欲しいものだ。

台北を訪問される方は、こういう事実も含め花博を楽しんでほしい。花は美しい。さらにエコ対策や出し物も素晴らしい。人気館は、2～3時間並ぶものもある。これから全体がクリスマス用の装飾にもなるらしく、とても美しいらしい。花あふれる南国台湾をアジアの花センターにする、またエコ先進国となろうとする台湾を応援したい。みなさまも寒さ対策をして台北花博を見に来てください。

【(株)スナーク 富田】

海外販売大作戦フォーラムに参加しました 中国ビジネスの実体験を聞く

12月6日、広島市で「ニッポンのいいモノ海外販売大作戦フォーラム」(主催：中国経済産業局ほか)が開催された。

基調講演では、上海石橋水産品有限公司代表取締役会長の石橋氏が「中国におけるビジネス展開について」と題し、中国市場の実態や、中国で販路を開拓する際の注意点を、自身の体験談を交えてお話された。注意点で特に強調されたのは、①貿易という条例(商品が中国に出せるものなのか)、②賞味期限(中国に入るまで3週間～1ヶ月)と嗜好(受け入れられる味か)、③価格帯(値ごろ感)であった。

また、中国の富裕層と貧困層は日本人のそれとは比べ物にならないくらい差があることを挙げ、「中国では高いものが飛ぶように売れると言われるが、それはごく一部であり、マスコミの報道に左右されてはいけない。本当に売れるのは適正価格のもの。」と説明された。

さらに、中国での商談については、中国人は待てないので決裁権のある人が商談すること、商品を定番化するためには売れる提案(販促)をしなければならないことをアドバイスされた。

日本人は、中国産の食品に対して不信感を抱いているが、中国の食品に一番不信感を持っているのは、中国人だと言う。その証拠に、中国には野菜用洗剤が普及している。日本人が作るものは信頼されており、カップヌードル1個が、中国産は3元、日本産は20元という差があるにも関わらず、それでも日本産が売れると言う。高いものには、安全が付帯されているのだ。

最後に、これから売れるものとして石橋氏は、菓子、ジュース、麺を挙げた。中国展開をされる方は、今後のご参考にしていただきたい。

【(財)鳥取県産業振興機構海外支援グループ 早川】

最新上海 ～現地レポート～ 33

中国進出企業紹介「農事組合法人 広岡農場」

先月の本誌（第48号2010/11/19発行）でもお伝えしたが、中国国内最大規模の食品関連展示会「FHC CHINA 2010」に鳥取県内企業6社と1団体が出展した。その出展企業の中で、鳥取産の梨を使用したスパークリングワインや梅ジュースを出展した「農事組合法人広岡農場（下記、広岡農場）」が、上海市内のスーパーに同社が生産する鳥取二十世紀梨の販売をスタートさせた。



「FHC CHINA 2010」広岡農場出展の様子

広岡農場はその名のとおり生産農場で、二十世紀梨など各種の梨や南高梅などの数種の梅を生産している。そして、自家農場で栽培した梨や梅を使用したドリンクの開発と発売も始めた。今回は、中国進出を図る同社の取り組みについて出展商品とともに紹介する。

■世界初、梨ワイン「Facilite(ファシリーテ)」

英国の調査会社である「国際ワイン・スピリッツ研究所」によると、中国国内でのワイン消費量は2004年から09年までに80%増加し、08年のワイン輸入量は前年比36%の成長を記録しているようだ。また2004年以降6年連続で国別消費量世界一は中国なのだ。このような状況の中、上海のスーパーでは外資系を問わず、ローカルスーパーでもワインが販売され、飲食店についても中華レストランでもワインを提供するところが多い。また、ワインバーやワイン専売店なども増えている。

広岡農場・代表取締役専務の漆原氏に話を伺ったところ、同氏はお酒がほとんど飲めないで、「お酒が苦手な方にも楽しんでもらえる味を作りたいかった。また鳥取は海産物が豊富でおいしいので、それに合う甘すぎずすっきりとしたワインにしたかった。」とのこと。日本同様、上海でも健康志向が進み、売れる商品の一つのキーワードが「健康」だ。また、飲みやすい味も女性に受けるだろう。このように同社は新しい商品と市場を開拓し、今回のFHCへの初参加から、中国での販売開拓は始まったばかりだ。

■自家農場生産の梅を使用した梅ドリンク「美梅子」

昨今の健康志向の高まりにより、ワインや梅酒などの果実酒がブームとなっている。ただ、中国で販売されて

いる梅酒の原材料のほとんどが中国産で価格面の競争は激しいものの、梅酒を好む人（特に女性）は増加している。上海の女性はお酒が強くないが、お酒を飲んで雰囲気を楽しみたいと思う人に、ジュースのような感覚の梅酒が好まれている。

■二十世紀梨

周知のとおり、中国で販売が許可されている日本の果物は、梨とりんご。上海市中心地に位置する日系スーパーの「GLジャパンプラザ（中国名：全洲超市）」で11月初旬から広岡農場の二十世紀梨が店頭に並んだ。GLジャパンプラザの総経理補佐・村上氏によると、約300個の二十世紀梨が一個68元（約850円）で販売された。梨はりんごほどの人気がなく、中国人にとっての日本の梨へのブランド意識もまだ高いというわけではない上、競争の激しい上海では、陳列するだけでは販売が難しく、あれやこれやの販売戦略が必要のようだが、12月頭に売り切れたようだ。

《農事組合 広岡農場》

住所：鳥取県鳥取市広岡151

電話：0857-53-5308

H P：<http://www.hirooka-farm.com/>

《GLジャパンプラザ（全洲超市）》

住所：上海市馬当路222弄1-6号地下1階

電話：+86-21-5382-8289



写真上：GLジャパンプラザで販売されていた広岡農場の二十世紀梨

写真下：GLジャパンプラザ果物売り場の様子



鳥取県広州食品商談会のご案内

中国華南地域へ販路開拓を目指す食品企業・団体等を募集！

(財)鳥取県産業振興機構では、中国一消費購買力の高い華南地域の中心地である広州で、鳥取県が標榜している「食のみやこ鳥取県」のもと、安全、安心、美味で定評のある本県の各種食品の販路開拓を図るため、当財団主催の「鳥取県広州食品商談会」を開催することとし、以下のとおり参加者を募集します。

***本事業は、中国経済産業局の平成22年度地域企業立地促進等事業費補助金（地域中小企業海外販路開拓支援事業）を活用し実施するもので、この補助金の交付決定を条件とします。**

■商談会概要

- (1) 会 期：2011年2月21日（月）～24日（木） *商談会は22日（火）、23日（水）
- (2) 会 場：広州市内のホテル
- (3) 主催者：財団法人鳥取県産業振興機構
- (4) 参加者：県内企業・団体等10社

■主な商談会参加規程

- (1) 参加対象企業は、鳥取県内に本社、支店、工場など関連施設がある食品関連企業・団体等であることとします。
- (2) 出品物は、鳥取県産品或いは鳥取県内の加工工場等で加工された商品とします。また、制度上、日本から中国・香港へ輸出・販売可能な加工食品・飲料等に限ります。
- (3) 商談会に来場するバイヤーは、広州市をはじめとした華南地域及び香港のバイヤー（商社や量販店等）計20社程度の予定です。
- (4) 当財団による審査の上、参加企業を決定いたします。
- (5) 出品物は全て参加者の責任において会場まで輸送し、出品してください。

■費用負担区分

- (1) 当財団が負担する経費
 - ア 会場借上料
 - イ 出品物の保管に要する設備（冷凍冷蔵庫）レンタル代及びその電気代
 - ウ 参加者の派遣に要する経費（関空ー広州往復航空券代、現地宿泊費のみ）
*但し、当財団が一括手配した航空券、ホテルの利用に限ります。また、当財団が負担するのは1社1名分のみとします。自社事業等他の事業が含まれる場合は、本商談会に係る部分のみが対象となります。
 - エ 通訳雇用経費（1社1名）
- (2) 参加企業が負担する経費
 - ア 輸出梱包及び商談会場までの通関・輸送経費、関税等公租公課、関係する保険料
 - イ 参加者が独自に必要なとする設備・備品等の設置・借上・撤去に要する経費
 - ウ 商談会終了後の出品物の処理（還送・転送等）に係る経費
 - エ 現地交通費
 - オ 二人以上の社員を派遣する場合には、二人目以降にかかる経費（渡航費、宿泊料、現地交通費等）

■商談会開催日程（予定）

2011年 2月21日（月）	関空→広州 （滞在中は広州宿泊）
2月22日（火）	朝：商談会会場設営、終日：商談会
2月23日（水）	終日：商談会、夕方：撤収
2月24日（木）	広州→関空

■申込期限

2010年12月15日（水）必着

当機構ホームページより募集要項をご確認いただき、所定の用紙に必要な事項をご記入の上、出品物と会社概要が分かるパンフレット20部ずつとともに、海外支援グループまで郵送でお申し込みください。

■申し込み・問合せ先

(財)鳥取県産業振興機構 海外支援グループ（担当：早川、中江）

TEL:0857-52-6703 FAX:0857-52-6782 E-mail: kaigai@toriton.or.jp

お知らせ

中小企業支援安全保障貿易管理セミナー ～「輸出者等遵守基準」への取組に向けて～ のご案内

日本機械輸出組合は、中小企業の方々の輸出管理を支援するため、標記基準の内容を説明する安全保障貿易管理セミナーを開催いたします。

- ★日時：2010年12月15日（水）
14：00～17：00
- ★会場：鳥取商工会議所5階 大会議室
- ★講師：日本機械輸出組合部会・貿易業務グループ
輸出管理アドバイザー
- ★定員：50名
- ★参加費：無料
- ★問合せ、申込先：
日本機械輸出組合部会
電話：03-3431-9800
FAX：03-3431-0509

北東アジアビジネスフォーラム のご案内

鳥取県では、対岸諸国とのビジネス交流の更なる発展をめざして、境港・東海・ウヅハヅルを結ぶ環日本海定期貨客船航路を利用したビジネス交流の現状と今後の可能性について考えるフォーラムを開催します。

- ★日時：2010年12月16日（木）
15：00～17：30
- ★会場：米子コンベンションセンター
- ★参加費：無料
- ★定員：300名
- ★内容：
基調講演「北東アジア経済圏の地政学的地位」（金美德氏）ほか
- ★問合せ、申込先：
鳥取県商工労働部通商物流室
電話：0857-26-7660
FAX：0857-26-8117

中小ベンチャー企業のための 模倣品対策説明相談会のご案内

企業の海外進出に伴い、日本企業の製品に対する模倣被害・産業財産権侵害の事例があつたをたぢません。本セミナーでは、国内の産業財産権制度や具体的な事例等を交えてわかりやすく説明します。

- ★日時：2010年12月15日（水）
第一部 10：00～15：00
第二部 15：00～17：00
（第二部の個別相談会は別途相談時間の予約が必要となります）
- ★会場：とりぎん文化会館2階第4会議室
- ★定員：30名
- ★参加費：無料
- ★問合せ、申込先：
発明協会 鳥取県支部
電話：0857-52-6728
FAX：0857-52-6674

編集後記

高層ビルが立ち並ぶ上海・浦東新区でも、一際目を引く「上海ヒルズ（上海環球金融中心）」100階の展望台は、世界一高い展望台としてギネス世界記録に認定されています。この地上474メートルに位置する展望台では、なんと初日の出を見ることができるのです。2011年の鑑賞についても、既に応募が始まっているようですが、人数制限がある上、先着順で、100階→97階→94階となるようです。新年早々、世界一の高さでご来光を拝めば、一年間の運氣も上がりそうですね。

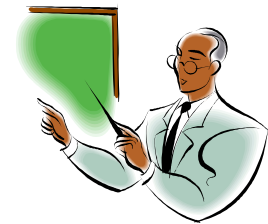
さて、2010年は皆様にとってどのような一年だったでしょうか？本誌でお伝えした情報が、海外市場へチャレンジする皆様にとって少しでもお役に立ちましたでしょうか？県内貿易支援機関では、来年も様々な海外見本市や商談会を実施する予定です。より多くの方に海外へ目を向けていただけるよう、情報発信に努めてまいりますので、来年もどうぞよろしくお願いいたします。

【zao】

本誌『とっとり・グローバルウォッチ』では、皆様から、内容のご提案や掲載されている情報へのご意見・ご感想をお待ちしておりますのでメールでお気軽にお寄せください。また、受信希望（無料）の方は下記までご連絡ください。

お問い合わせ：（財）鳥取県産業振興機構 企業支援部
海外支援グループ（担当：早川）

E-mail：kaigai@toriton.or.jp
Tel：0857-52-6703 FAX：0857-52-6782



とっとり貿易支援センター 貿易に関する相談はこちらの窓口へ

【東部窓口】

- （財）鳥取県産業振興機構企業支援部
海外支援グループ
Tel 0857-52-6703
- ジェトロ鳥取貿易情報センター
Tel 0857-52-4335

【西部窓口】

- （株）さかいみなと貿易センター
Tel 0859-47-3900
- 境港貿易振興会
Tel 0859-47-3905

【その他関係機関】

- 境港管理組合港湾管理委員会事務局
Tel 0859-42-3705
- ジェトロ貿易相談デスク
Tel 0859-45-2203